

◆◆◆主な功績◆◆◆

【団 体】

上川名地区 活性化推進組合 殿 (柴田町)

上川名地区活性化推進組合は平成 22 年に設立され、「楽しいことやりたい人集まれ」を合言葉に地区外からも加入者を募集。現在、代表である平間氏を中心に地区住民 22 名、地区外加入者 10 名、計 32 名で活動している。「上川名地区にたくさんの子供たちを集め、子供たちを巻き込んだ活動をする」という目標を掲げ、地域資源を活用した事業を多数展開してきた。また、平成 27 年柴田町協働教育推進事業「しばたっ子応援団（学校支援ボランティア）」に組合として登録し、町内の小中学生を対象に体験を重視した学習支援を多数行っている。子供たちは体験を通して郷土への愛着を一層深めており、柴田町の協働教育になくてはならない存在となっている。

村田第二小学校 読み聞かせボランティア 殿 (村田町)

村田第二小学校読み聞かせボランティアは、平成 23 年度から村田町学校支援ボランティアとして読書活動支援を続けている。絵本等の読み聞かせを通して、児童に読書の楽しさを伝えるとともに、読書への興味・関心を高めている。また、読書活動の合間に手遊びやペープサートを取り入れた活動も行っており、幅広い視点で子どもたちの学びの充実に努めている。常によりよい学習支援を行うための知識・技能の向上にも努めており、ボランティアを対象とした研修会等に積極的に参加している。活動は 10 年目を迎え、村田町の協働教育推進に大きく貢献している。

七ヶ浜町おはなしボランティア 「あゆみの会」 殿 (七ヶ浜町)

平成 25 年 4 月から、七ヶ浜の町立保育所及び小学校で週 1 回、中学校で月 2 回読み聞かせを実施している。学校以外でも、町中央公民館キッズルームにて読み聞かせや手遊び、紙芝居、わらべうた等の「おはなし会」を行っている。さらに、町内 3 児童館において、乳幼児とその保護者を対象に、長期休業中にイベントを開催し、年間のべ 2,000 人以上を対象に読み聞かせを実施する等、七ヶ浜町の協働教育の大きな牽引力となっている。平成 31 年度、子供の読書活動優秀実践団体文部科学大臣表彰を受けている。

老友会 殿 (栗原市)

平成 12 年から、志波姫中学校 2 年生を対象に体験学習「しめ縄づくり」の指導を行っている。毎年 12 月に行う講義では、しめ縄の由来に関する説明と、わら打ち、縄ないを含めたしめ縄作りの演習指導を行っている。学校だけでは体験し難いこれらの活動支援により、一層学習が充実し、生徒の深い学びへとつながっている。この学習を体験した生徒は、作成したしめ縄を正月、自宅に飾っている。家庭での飾り付けまでを含めたこの一連の活動は、生徒に郷土の文化や伝統のすばらしさに触れさせ、ふるさとについて考えを深めさせる機会となっており、大きな成果を上げている。

高清水茶道クラブ 殿 (栗原市)

平成 23 年から、高清水小学校茶道クラブの指導を行っている。また、地域で毎年開催される「高清水生涯学習まつり」において、児童がたてたお茶を地域住民に振る舞えるようにコーディネートし、学習成果を発表する機会を創出している。これは、児童にとって自らの学習成果を認めてもらえる機会だけではなく、たくさんの地域住民と接し、言葉を交わす良い機会となっている。茶道の指導以外に茶杓（ちゃしゃく）づくりも体験させるなど、子供たちは伝統文化について深く学ぶことができている。学校教育の充実に大きく貢献している団体である。

米泉獅子舞保存会 殿 (加美町)

平成 25 年から、賀美石小学校 5、6 年生を対象に獅子舞の指導を行っており、児童はその学習成果を学校行事や地域の祭りで発表している。保護者や地域住民はこの発表をとっても楽しみにしており、児童のみならず保護者、地域住民にとっても地域伝統芸能の良さ、伝統芸能継承活動の大切さを感じ取ることができる良い機会となっている。また、小学生時代に獅子舞を学んだ児童が、今日の保存会を支える大人へと成長し、地域伝統芸能を継承する役目を果たしており、協働教育を通じた「地域づくりの担い手の育成」、「地域コミュニティの持続形成」等に大きく寄与している。

女川 潮騒太鼓轟会 殿 (女川町)

女川中（統合前は女川第一中）では、総合的な学習の時間の取組の一つとして「潮（うしお）活動」を実施している。女川潮騒太鼓轟会は、平成 8 年度から「潮活動」において太鼓の指導にあたり、生徒たちは毎年 10 月に行われる文化祭で同会から教わった演奏を披露している。また、女川小（当初は女川第二小）でも、平成 14 年度から 19 年間、5 年生を対象に「さざなみ太鼓」の指導を行っている。この他にも、長年にわたって宮城県立支援学校女川高等学園での太鼓クラブの演奏指導や、放課後子供教室の太鼓体験講座の指導に取り組むなど、女川町の協働教育に大きく寄与している。

小泉浜 大漁打ばやし保存会 殿 (気仙沼市)

小泉浜地域に古くから伝わる郷土芸能「小泉浜大漁打ばやし」を子供たちに教え、地域の伝統芸能に触れさせるとともに、伝承を絶やさないための活動を継続してきた。同会は平成 28 年より毎年、小泉小学校の 5・6 年生、及び小泉幼稚園の全園児を対象に太鼓（小太鼓、大太鼓）及び虎舞を指導しており、児童たちはその成果を運動会や学芸会で、園児は生活発表会で披露している。地域においても、八幡神社の祭典や敬老会、福祉施設の夏祭りや、様々な式典（三陸道開通や小泉海岸のオープンの式典など）の中で芸能を披露し、地域文化振興に大きく寄与している。

水戸辺サケ組合 殿 (南三陸町)

水戸辺サケ組合は、サケの再生産（捕獲・ふ化・放流）を目的として、2 つの集落内で構成・設立された組織である。南三陸町の冬季の市場水揚げの主力魚種であるサケについて子供たちに指導し、ふるさとを愛する心を育てている。河川遡上したサケの捕獲採卵現場での見学指導、その現場で受精させた卵を使用した学校の水槽でのふ化、飼育等の指導を、昭和 60 年の水戸辺郷振興会時代から 35 年間続けており、協働教育推進に大きく貢献している。

特定非営利活動法人 まなびのたねネットワーク 殿 (仙台市)

代表の伊勢氏を中心に、学校教育支援と社会教育支援をとおした青少年育成と、市民が育つ地域社会づくりに永年にわたって取り組んでいる。同法人が自主作成した冊子「コーディネーター応援ブック」は県内でコーディネーターとして活躍する方々の手引き書として常時活用されている。また、協働教育コーディネーターの養成研修会の企画・運営等をとおして、協働教育がもたらす様々な効果、効用等の啓発に精力的に取り組むなど、本県の協働教育の振興、発展のために果たしてきた功績は多大である。

特定非営利活動法人 地球のステージ 殿 (名取市)

代表の桑山氏は心療内科医で、その専門性を生かし震災後の本県の児童生徒及び地域住民の「心のケア・震災の伝承」に永年にわたり取り組んできた。特に沿岸部、内陸部の児童生徒と地域住民を対象に開催してきた「地球のステージ」（コンサート）は、「命の大切さ」「人々のつながりの大切さ」に気付かせ、夢や希望に向かって力強く歩もうとする心情を育む活動である。震災のケアを軸に取り組んできた活動の功績は多大であり、本県の協働教育の推進に大きく寄与するものである。

【個 人】

高橋 和也 様 (白石市) 学校支援ボランティア

平成 17 年より白石市立深谷小学校で行われている米作りを中心とした農業体験活動（総合的な学習の時間）支援に中心となって携わっている。コロナ禍の今年も活動を継続して行った。手作業による農業体験を重視し、脱穀後のもみ殻やわらが地域の酪農に使われることや、地域性を踏まえた農業について説明をするなど、地域資源を活かした教育支援を継続している。米作り以外にも、サツマイモ栽培などを支援し、児童・教員だけでは難しい作業を時季を見てサポートし、年間を通して学校支援活動に尽力しており、地域の協働教育の要として活躍している。

磯村 由美 様 (富谷市) 地域コーディネーター

地域学校協働活動推進事業「富谷市地域・学校・家庭をつなぐ取組」において、平成 22 年より地域コーディネーターを務め、富谷市の協働教育事業の発展に大きく寄与している。学校からの支援依頼を受け、その依頼内容に応じて地域住民を派遣し、学校教育が円滑に運営できるよう努めている。さらに、公民館事業にも力を発揮し、成田公民館での「音楽の広場 クリスマスコンサート」においては企画運営を担い、成田地区の学校支援事業テーマ「音楽で心を重ねよう」を具現化した。学校と地域がその垣根を越え、共有するテーマに向かう地域の姿はまさに協働活動である。

宮城県教育委員会 協働教育推進功績表彰団体・個人一覧

(敬称略)

蜂谷 房子 様
(利府町)
地域コーディネーター

土曜日における子供の居場所づくり事業「りふ・わくわく広場」の企画・運営に携わり、平成21年度からは地域コーディネーターとして、その豊富な経験と知識を生かしながら、様々な体験活動を企画・実施してきた。広場は町内すべての小学生が、様々な学年や学校の友達と話したり、勉強や読書、遊んだりしながら、安心・安全に過ごすことができる楽しみの場となっている。また、同氏は家庭教育支援チーム員としても活躍しており、利府町の協働教育推進に大きく貢献している。

大槻 由美子 様
(大郷町)
地域コーディネーター

平成23年度より大郷町協働教育推進事業の「小学校常駐コーディネーター」として、学校と地域をつなぐ役割を担い、様々な教育活動のコーディネートを行っている。学校に定期的に通い、教職員と綿密に相談しながら、学習に必要な人材や物品の手配をするなど、学校教育活動の充実のために労を惜しまずに取り組んでいる。長期にわたり大郷の子供たちに関わり支援してきた功績は大きく、同町の協働教育振興の大きな牽引力となっている。

氏家 弘子 様
(大崎市)
地域コーディネーター

平成20年8月1日に発足した「松山地区学校支援本部実行委員会」を令和2年9月10日に「松山地域学校協働本部」に移行し、これまで12年6か月にわたって、当該団体の役員及び活動コーディネーターを務めている。氏家氏は組織的な活動の確立と推進において中心的な役割を果たすとともに、学校と学校支援ボランティアをつなぐ調整役としても実績を上げている。また、広報活動等を通じて、地域住民に学校支援活動への参画を促し、子供たちを地域で支える環境の整備にも尽力しており、地域学校協働活動の円滑な推進に大きく寄与している。

佐々木 洋 様
(石巻市)
放課後子供教室
地域コーディネーター

「和っ子クラブ」は、「石巻市放課後子ども教室推進事業」として平成25年度より和渚小学校区をモデル地区として始まった放課後子供教室である。運営スタッフは、河南地域住民自治協議会和渚地区部会を母体とした地域住民であり、その中で、開設当時から7年以上に渡ってコーディネーターとしてその役割を担っているのが佐々木氏である。同氏は、和っ子クラブのコーディネーターとして、年間計画の立案や学校との連絡・調整、運営スタッフの取りまとめ等を行い、子供たちのことを第一に考え、子供たちが地域の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりに大きく寄与している。

高橋 恒夫 様
(登米市)
学校支援ボランティア

平成26年4月に登米市学校・地域教育力向上対策事業の支援ボランティアとして登録されて以来、南方小学校、南方中学校において、防災訓練、図書整理、図書台帳のデータ化等、数多くの支援に取り組んできた。また、放課後子供教室のスタッフや、総合的な学習の時間のさつま芋栽培も快く引き受け、子供たちの指導にあたってきた。季節や天候にかかわらず毎日のように通学路において、街頭指導や危険個所のチェックを行い、児童生徒が安全に登下校できるよう努めるなど、南方地区の登録ボランティアのリーダー的役割も担ってきた。地域の子供たちの健全育成に大きく寄与し、教職員等からの信頼も大変厚い。

高橋 きみゑ 様
(東松島市)
学校支援ボランティア

平成28年度より東松島市立大曲小学校で開始された放課後子供教室に立ち上げから携わり、大曲まちづくり協議会が主催する書き初め練習会において毛筆・硬筆の指導を継続して行うなど、地域の子供たちに積極的に関わっている。平成30年度からは、学び相談員として子供たちの学習支援事業に参画し、学習会の運営及び学習相談・学習支援に取り組み、震災後の子供たちに対して安心して学習できる環境を考え、一人一人に寄り添った学習支援を行っている。様々な地域学校協働活動に取り組む姿は他のスタッフの模範であり、東松島市の協働教育に欠かせない人材である。

団 体	かみかわなち かつせいかすいしんくみあい 上川名地区活性化推進組合	(柴田町)
	むらただいにしょうがっこうよみきかせぼらんていあ 村田第二小学校読み聞かせボランティア	(村田町)
	しちがはままちおはなしぼらんていあ あゆみのかい 七ヶ浜町おはなしボランティア「あゆみの会」	(七ヶ浜町)
	ろうゆうかい 老友会	(栗原市)
	たかしみずちゃどうくらぶ 高清水茶道クラブ	(栗原市)
	こめいずみししまいほぞんかい 米泉獅子舞保存会	(加美町)
	おながわしおさいだいことどろきかい 女川潮騒太鼓轟会	(女川町)
	こいずみはまたいりょううちばやしほぞんかい 小泉浜大漁打ばやし保存会	(気仙沼市)
	みとべさけくみあい 水戸辺サケ組合	(南三陸町)
	とくていひえいりかつどうほうじんまなびのたねねっとわーく 特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク	(仙台市)
とくていひえいりかつどうほうじんちきゅうのすてーじ 特定非営利活動法人地球のステージ	(名取市)	
個 人	たかはし かずや 高橋 和也	(白石市)
	いそむら ゆみ 磯村 由美	(富谷市)
	はちや ふさこ 蜂谷 房子	(利府町)
	おおつき ゆみこ 大槻 由美子	(大郷町)
	うじいえ ひろこ 氏家 弘子	(大崎市)
	ささき ひろし 佐々木 洋	(石巻市)
	たかはし つねお 高橋 恒夫	(登米市)
たかはし きみえ 高橋 きみゑ	(東松島市)	